

特集 アウトローからの伝言

新自由主義政策に、人びとが追い詰められている状況が続いている。

競争と評価にさらされ、学校でも家庭でも、子どもは主体を透明化される。憲法を逸脱する法が作られ、自由な情報が制限され、生き方を権力者が誘導する世の中で、おとなも子どもも、主体を奪われない道があるのか。

現在にも、過去にも探索の手をのぼし、アウトローたちから手掛かりを得たい。

外から押しつけられた正解を読み取り、内面化するよう求められる子どもたちの苦しみ、文学者は目を向け、「消される主体」に抗う物語を創造したい。

